

補完・代替医療と EBM(evidence-based medicine)

板橋中央総合病院血液浄化療法センター

阿岸鉄三

わが国において補完・代替医療は、漢方薬を除くと正統的医療には含まれていない。現状では、新しい医療行為が普及するには厚生労働省が認可する医療保険の適用となることが、現実的に必須である。ここに、極めて難しい問題がある。すなわち、厚生労働省は、「医療は、経験主義を排した科学的な証拠のある医療 (EBM=evidence-based medicine)」であるべきとの態度をとっている。ところが、補完・代替医療の多くのものは、経験主義的であり、科学的思考の枠組み外にある。現代西欧医学・医療は、排他的な近代科学的思想が起こって以降、科学的枠組み内でだけ考えられるようになった。これらの医療技術はときには科学技術至上主義と誇られることがあるようになり、20世紀末になって、医療は患者の好み patient's

preference に 対 応 す べ き で あ る と い う 対 抗 思 想 が
生 ま れ た 。 そ れ は ， QOL ・ well-being な ど と 表 現
さ れ る が ， 根 底 に あ る の は ， 患 者 の 肉 体 的 ・
精 神 的 ， そ し て と き に は 靈 的 自 由 度 を 保 証 し 、
あ る い は 容 認 し よ う と す る こ と で あ る 。 し か
し 、 自 由 度 は ， 個 人 の 感 性 に 基 づ く も の で あ
り ， 現 代 科 学 で は 対 応 で き な い と す る の が 社
会 常 識 で あ る 。 奇 妙 な こ と に 、 こ の 思 想 が
EBM に 含 み こ ま れ て い る 。 厚 生 労 働 省 の 立 場
は ， 現 代 医 療 の 本 質 を 正 し く 理 解 し な い ， 矛
盾 に 満 ち た も の で あ る こ と に 気 づ く 。 科 学 的
ば か り で な く ， 科 学 的 に 理 解 さ れ な い 非 科 学
的 思 考 も 枠 内 に 入 れ る 医 療 は ， 今 日 で は ， 現
実 に 普 通 に 臨 床 応 用 さ れ て い る も の で あ り ，
統 合 医 療 integrative medicine と 呼 ば れ る も の で あ る 。